

1. 科目名 (単位数)	高齢者心理学特殊研究 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP8268
2. 授業担当教員	若松 直樹		
4. 授業形態	講義・討議	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし		
7. 講義概要	<p>高齢者を対象とした心理臨床の実践のための専門知識を修得する。心の加齢現象においてみられやすい精神疾患（認知症、気分障害、不安障害）ほか、心の正常加齢においてもうかがわれる社会的課題についても理解する。</p> <p>高齢者支援に必要な心理的アセスメントや心理社会的介入、また家族ほか（高齢者を支援する人々）の支援について、受講生によるテーマ設定などを通して発表とディスカッションを積み重ねてゆく。</p>		
8. 学習目標	<p>1) 高齢社会の到来の理解</p> <p>2) 高齢期特有の病理（認知症、老人性うつ病、自死など）の理解</p> <p>3) 心理的アセスメント・心理社会的介入・家族支援の理解</p>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>○高齢者支援に関する自身の問題意識を定め、それをテーマとする先行研究や社会的事象・課題を取り上げながら、問題提起およびそれに関わろうとする自身の態度について論述する。</p> <p>○レポートの執筆量や提出期限などはおって示します。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 下仲順子 編 『現代心理学シリーズ 14 老年心理学』 培風館。</p> <p>【参考書】 長田久雄・箱田裕司 編 『超高齢社会を生きる－老いに寄り添う心理学』 誠信書房</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準：学習目標に関する問題意識の蓄積と深化</p> <p>○評定の方法：レポート 50% 取り組みへの積極性 50%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>後期博士課程に在籍する立場は、自身の問題意識を社会に反映させ課題に対する変化を促す役割でしょう。臨床にせよ研究・教育にせよ、情報の発信者となる能力が重要です。</p> <p>高齢期の支援はこれからの数十年が高齢者人口などからみても最重要課題となるでしょう。その時期に後期博士課程にいる意味を今一度振り返ってください。「支援（臨床）・研究（課題発見）・情報発信（教育）」に必要なものが何であるか、いつも考えてみてください。</p>		
13. オフィスアワー	初回講義でお知らせします。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	高齢者心理学研究の歴史		
	<p>【学習の目標・内容】 老化の概念および研究法を理解する。</p> <p>【キーワード】 老化、生涯発達、研究法</p> <p>【学習の課題】 教科書第 1 章の理解と問題意識の展開</p> <p>【学習上のポイント】 高齢期はどのように定義され、どのように研究されてきたかを捉える。</p>		
2. テーマ	高齢社会の到来		
	<p>【学習の目標・内容】 高齢者人口の増加、長寿化を理解する。</p> <p>【キーワード】 高齢者人口、長寿化、平均寿命、限界寿命、健康寿命（活動的余命）、百寿者</p> <p>【学習の課題】 教科書第 2 章の理解と問題意識の展開</p> <p>【学習上のポイント】 高齢期の時間的特徴を把握する。</p>		
3. テーマ	高齢期の健康、身体疾患		
	<p>【学習の目標・内容】 高齢期の健康を支えるものを理解する。</p> <p>【キーワード】 身体的老化、老年症候群、閉じこもり</p> <p>【学習の課題】 教科書第 3 章の理解と問題意識の展開</p> <p>【学習上のポイント】 高齢期の健康を阻害する要因を把握する。</p>		
4. テーマ	高齢期の精神疾患		
	<p>【学習の目標・内容】 高齢期にみられやすい精神疾患を理解する。</p> <p>【キーワード】 認知症、気分障害、不安障害、統合失調症、自死</p> <p>【学習の課題】 教科書第 4 章の理解と問題意識の展開</p> <p>【学習上のポイント】 高齢期の精神医学的特徴を把握する。</p>		
5. テーマ	高齢期の感覚、知覚機能の加齢変化		
	<p>【学習の目標・内容】 高齢期の感覚・知覚機能の特徴を理解する。</p> <p>【キーワード】 身体・感覚機能、視覚・聴覚・注意</p> <p>【学習の課題】 教科書第 5 章の理解と問題意識の展開</p> <p>【学習上のポイント】 高齢期にみられる感覚・注意機能の変化を把握する。</p>		
6. テーマ	高齢者の記憶		
	<p>【学習の目標・内容】 高齢期の記憶の特徴を理解する。</p> <p>【キーワード】 短期記憶、作動記憶、エピソード記憶、意味記憶、手続き記憶、展望的記憶</p> <p>【学習の課題】 教科書第 6 章の理解と問題意識の展開</p> <p>【学習上のポイント】 高齢期の記憶機能を把握する。</p>		
7. テーマ	知能と加齢		
	<p>【学習の目標・内容】 高齢期の知能の特徴を理解する。</p> <p>【キーワード】 知能、発達曲線、知恵（叡智）</p> <p>【学習の課題】 教科書第 7 章の理解と問題意識の展開</p> <p>【学習上のポイント】 高齢期の知的機能を把握する。</p>		

8 . テ ー マ	人格と加齢
【学習の目標・内容】	高齢期の人格特徴を理解する。
【キーワード】	人格, Big Five 神経症傾向・外向性・開放性・調和性・誠実性
【学習の課題】	教科書第 8 章の理解と問題意識の展開
【学習上のポイント】	高齢期にみられる人格を把握する。
9 . テ ー マ	高齢期の適応
【学習の目標・内容】	高齢期に必要な適応を理解する。
【キーワード】	活動理論・離脱理論, サクセスフルエイジング, 主観的幸福感, 回想, ストレスコーピング
【学習の課題】	教科書第 9 章の理解と問題意識の展開
【学習上のポイント】	高齢期のサクセスフルエイジングとは何かを把握する。
10 . テ ー マ	高齢期の家族
【学習の目標・内容】	高齢期にみられやすい家族関係を理解する。
【キーワード】	役割移行, 親子関係, 夫婦関係, 家族関係
【学習の課題】	教科書第 10 章の理解と問題意識の展開
【学習上のポイント】	高齢期の家族関係を把握する。
11 . テ ー マ	高齢期の対人関係と社会生活
【学習の目標・内容】	高齢期の対人関係の特徴を理解する
【キーワード】	ソーシャルサポート, ソーシャルネットワーク, 社会参加, 社会貢献
【学習の課題】	教科書第 11 章の理解と問題意識の展開
【学習上のポイント】	高齢期の幸福と社会とのつながりを把握する。
12 . テ ー マ	死と死にゆく過程
【学習の目標・内容】	高齢期の死と死別を理解する。
【キーワード】	死にゆくプロセス, 安楽死・尊厳死, ホスピス, グリーフ
【学習の課題】	教科書第 12 章の理解と問題意識の展開
【学習上のポイント】	高齢期の死の受容過程, 死別からの回復過程を把握する。
13 . テ ー マ	高齢者を対象とした認知, 知能・記憶の測定
【学習の目標・内容】	高齢期に用いる神経心理学的検査を理解する。
【キーワード】	知能テスト, 認知症スクリーニングテスト, 記憶機能評価, 神経心理学
【学習の課題】	教科書第 13 章の理解と問題意識の展開
【学習上のポイント】	高齢期の各種心理的アセスメントの適用場面を把握する。
14 . テ ー マ	高齢者を対象とした人格, 精神健康の測定
【学習の目標・内容】	高齢期に用いる臨床心理学的検査を理解する。
【キーワード】	投映法, 質問紙法, 主観的幸福感
【学習の課題】	教科書第 14 章の理解と問題意識の展開
【学習上のポイント】	高齢期の各種心理的アセスメントの適用場面を把握する。
15 . テ ー マ	高齢者を対象とした心理療法
【学習の目標・内容】	高齢期に用いる心理社会的介入を理解する。
【キーワード】	リアリティオリエンテーション (RO), 回想法, コラージュ療法, 音楽療法, アニマルセラピー
【学習の課題】	教科書第 15 章の理解と問題意識の展開
【学習上のポイント】	高齢期の心理面への各種介入 (リハビリテーション) を把握する。